

中竜門地区地域づくり計画



奈良県吉野町
中竜門地区自治協議会
令和4年6月

目次

1. 吉野町中竜門地区の概要.....	3
(1) 奈良県吉野町の概要.....	3
(2) 中竜門地区の概要	5
2. 中竜門地区の課題や問題点.....	7
3. 中竜門地区自治協議会について	8
(1) これまでの経緯	8
(2) 組織体制	9
4. 基本計画.....	10
(1) 計画の趣旨と全体の基本目標	10
(2) 計画の期間	10
(3) 個別の目標と基本計画.....	10
(4) 中竜門地区地域づくり計画	14

はじめに

平素は、中竜門地区自治協議会にご支援・ご協力を賜り、ありがとうございます。

中竜門地区自治協議会も、コロナ禍の影響を受け、2年続きで当初の予定を大幅に変更させていただきながら4年目を迎えることが出来ました。

思えば、吉野町まちづくり基本条例のもと、地域が目指す将来像を、地域住民自らが描き、この実現に向けた活動を推進するため、それまでの中竜門鳥獣被害防止対策協議会、中竜門防災福祉協議会、中竜門区長会が連携・協力して、新たに中竜門地区自治協議会を設立しました。

中竜門地区は吉野町の東の玄関として宇陀地域と広く接続し、吉野町の発展に欠かせない要所であります。また、農林業を中心にして、協働の文化を築き、住みやすいまちとして発展してきました。

しかし、近年、核家族化や農林業の衰退により、若者の地域離れや地域の経済力の低下が進んでいます。更に、そのことで人口減少に拍車がかかり、買い物や医療面でも支障が出て、中高齢者にとっても住み辛くなってきています。

そこで、中竜門地区自治協議会では、これまでのような住みやすいまちづくりを目指して、中竜門地区地域づくり計画を策定しました。

できることから始め、計画の見直しを行いながら、一步一步進めて行きたいと考えています。

よりよい地域にしていくためには、地域の良さはもとより、埋もれた良さを発掘しながら、大胆にまた繊細に新しい文化を築いていくことが大事であり、中竜門地区のこれまでの自然を生業として培ってきた地域文化や人的資源は大きな武器になると考えています。

地域づくりスローガン『みんなで考え 築くふるさと中竜門』のもと、皆様のご理解・ご協力を賜りながら、確実に実行して行きたいと考えています。

住民の皆が幸せに暮らせるよう、皆様お一人お一人のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

1 吉野町中竜門地区の概要

(1) 奈良県吉野町の概要

奈良県吉野町は奈良県の中央部にあり、奈良盆地の南側で紀伊山地の北部に位置しています。そのため、紀伊山地の北側の玄関口になっており、世界遺産にも登録された修験道の霊場として古くから栄えてきました。近年では、吉野川流域で飛鳥時代の離宮と考えられる宮滝遺跡が確認されて、長い歴史のある町でもあります。また、町の中央部を吉野川が東西に流れ、その南西には桜の名所として知られる吉野山があり、毎年、多くの観光客で賑わいます。また、豊かな自然がはぐくんだ吉野の木は、吉野杉・吉野桧といったブランド材として有名で、林業やそれに関連した産業も盛んで、地域の生業を支えてきました。

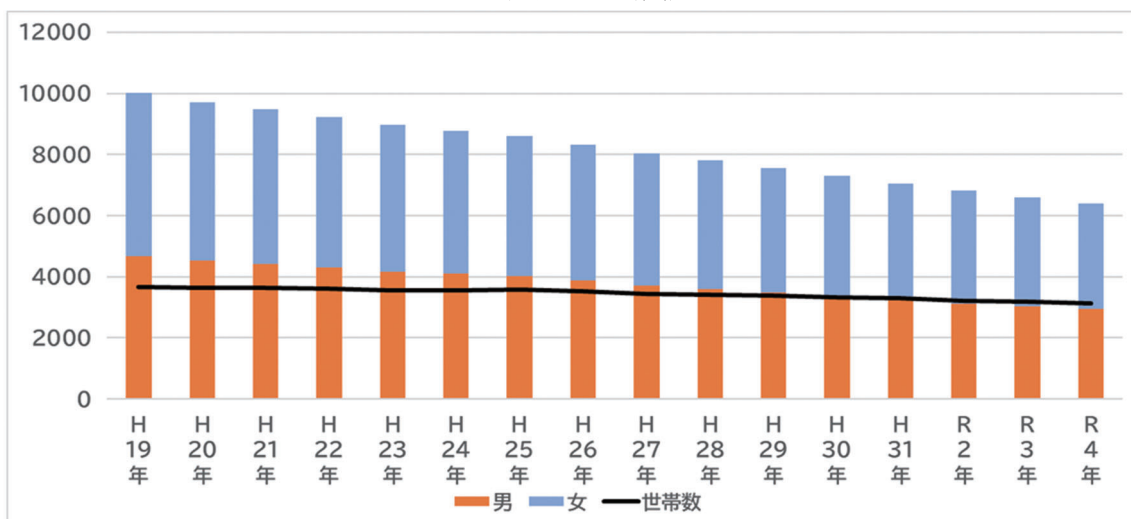


※吉野町ホームページより

吉野町の人口は、令和4年3月末現在 6,405人で、平成19年約1万人だった時から比べて15年で約35%減少しています。さらに、令和22年には約3,000人に減るという推計もあります※1。また、65歳以上人口が50%の一方で、15歳以下人口は約6%と少子化も著しい状況です。

※1・・・日本創生会議「全国市区町村別「20～39歳女性」の将来推計人口」平成26年

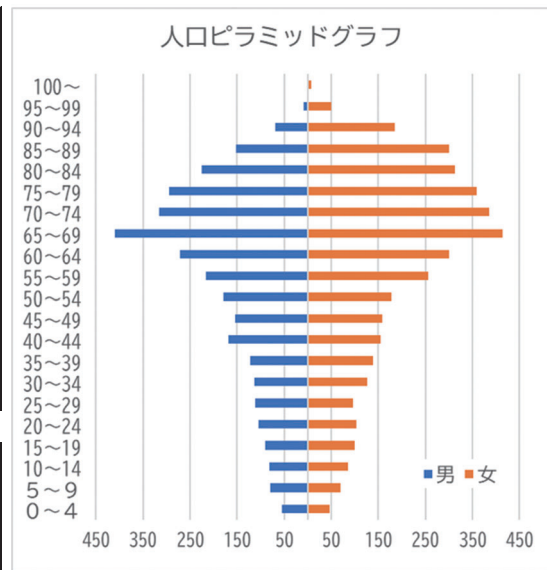
吉野町の人口推移



※吉野町住民基本台帳各年

吉野町の年齢別人口構成（平成 31 年 3 月 31 日）

年齢	男	女	合計	年齢	男	女	合計
0～4	54	47	101	55～59	217	256	473
5～9	79	70	149	60～64	271	300	571
10～14	82	86	168	65～69	410	414	824
15～19	90	100	190	70～74	315	385	700
20～24	105	103	208	75～79	295	359	654
25～29	111	96	207	80～84	225	312	537
30～34	114	126	240	85～89	153	301	454
35～39	122	139	261	90～94	69	184	253
40～44	169	154	323	95～99	9	50	59
45～49	155	159	314	100～	1	8	9
50～54	179	178	357	合計	3,225	3,827	7,052



	人口	構成比
15歳以下人口	418	5.9%
生産年齢人口	3144	44.6%
65歳以上人口	3490	49.5%

※吉野町「統計データからみた吉野町のすがた」（令和元年）

吉野町の産業構造は、建設業・製造業の第二次産業の変化がみられない中で、農業・林業の第一次産業は昭和 55 年の約 10%から平成 27 年の 5%まで低下しています。一方で、サービス業などの第三次産業が約 10%増えており、産業構造の転換が進んでいます。日本全体の産業構造は、第一次産業が 3.5%、第二次産業が 23.6%、第三次産業が 72.9%であるので、第一次産業と第二次産業の比率が高い特徴があります※2。特に、林業の構成比が 1.7%（全国 0.1%）と高く、木材加工製造業と合わせて地場産業として根付いていることが分かります。

※2・・・平成 27 年国勢調査「就業状態等基本集計結果」

吉野町の産業別就業者数と比率（平成 27 年）

産業（中分類）	実数	比率	産業（中分類）	実数	比率
農業	107	3.2%	不動産業、物品賃貸業	34	1.0%
林業	57	1.7%	学術研究、専門・技術サービス業	73	2.2%
鉱業、採石業、砂利採取業	1	0.0%	宿泊業、飲食サービス業	182	5.5%
建設業	278	8.4%	生活関連サービス業、娯楽業	137	4.1%
製造業	816	24.6%	教育・学習支援業	138	4.2%
電気・ガス・熱供給・水道業	13	0.4%	医療、福祉	348	10.5%
情報通信業	14	0.4%	複合サービス事業	58	1.7%
運輸業、郵便業	97	2.9%	サービス業(他に分類されないもの)	231	7.0%
卸売業、小売業	525	15.8%	公務	124	3.7%
金融業、保険業	41	1.2%	分類不能の産業	44	1.3%
			総数	3,318	100%

※吉野町「統計データからみた吉野町のすがた」（令和元年）

吉野町の産業構造の推移

		S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27
実数	第一次産業	674	683	427	309	299	194	148	164
	第二次産業	2754	2533	2494	2156	1871	1560	1224	1095
	第三次産業	3835	3710	3403	3322	3070	2621	2300	2015
比率	第一次産業	9.3%	9.9%	6.8%	5.3%	5.7%	4.4%	4.0%	5.0%
	第二次産業	37.9%	36.6%	39.4%	37.3%	35.7%	35.7%	33.3%	33.4%
	第三次産業	52.8%	53.6%	53.8%	57.4%	58.6%	59.9%	62.6%	61.5%

※国勢調査（各年）

（2）中竜門地区の概要

中竜門地区は吉野町の北東部にあり、地区のほとんどが山林で南北の山に挟まれた谷間に道路が走っています。地区の中央部の三茶屋では南北にも道路が通っているので、古くから交通の要衝として賑わっていました。地区は、吉野川には接していませんが、津風呂ダムによってできた津風呂湖の一部が南西側にあります。



この地区は東から、小名（殿川）※、三茶屋、柳（上柳、中央、中村、別所、田尻）※、香束、そして南に位置する色生の5つの大字から構成されています。

この地区も、人口の減少が続いています。平成17年の1,109人から、2021年の689人まで減少しています。

※括弧内は小字

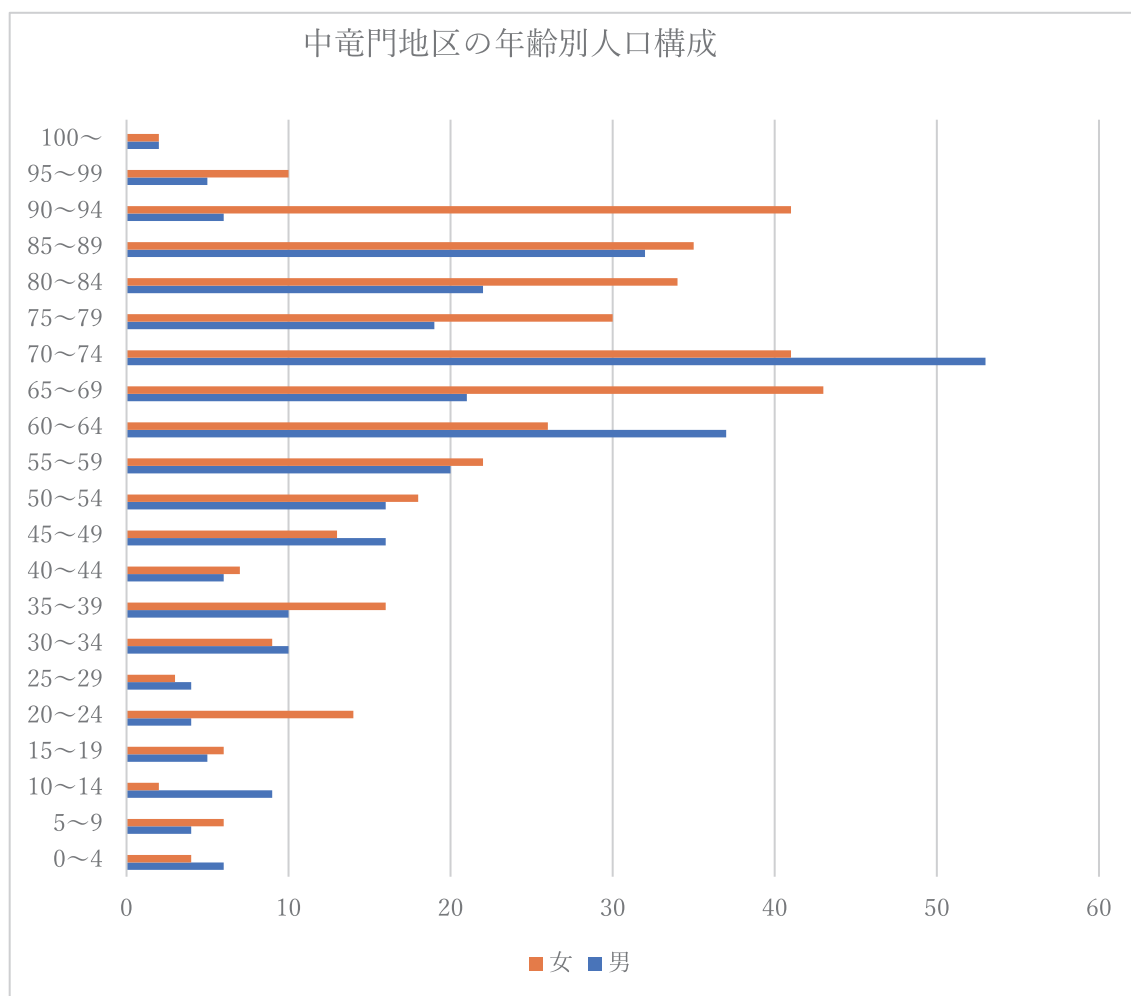
中竜門地区の人口推移

	H22年度		H27年度		R3年度	
	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
香束	241	111	202	105	144	76
柳	414	151	417	215	319	177
三茶屋	119	48	102	49	87	47
小名	83	30	67	25	57	26
殿川	29	14	12	7	13	8
色生	117	37	104	34	69	32
総数	1,003	391	904	435	689	366

中竜門地区の年齢別人口構成

(令和4年3月31日現在)

年齢	男	女	合計	年齢	男	女	合計
0～4	6	4	10	55～59	20	22	42
5～9	4	6	10	60～64	37	26	63
10～14	9	2	11	65～69	21	43	64
15～19	5	6	11	70～74	53	41	94
20～24	4	14	18	75～79	19	30	49
25～29	4	3	7	80～84	22	34	56
30～34	10	9	19	85～89	32	35	67
35～39	10	16	26	90～94	6	41	47
40～44	6	7	13	95～99	5	10	15
45～49	16	13	29	100～	2	2	4
50～54	16	18	34	合計	307	382	689



中竜門の産業構造（産業別の就業者数の割合）では、第一次産業の割合が全体で11.1%と高く、特に柳（14.2%）、小名（21.7%）が顕著です。特に、林業に従事する人の割合が非常に高く、中竜門全体でも4.8%となっています。また、第二次産業の割合が、小名（43.5%）と色生（44.7%）で高い傾向があります。そのため、小名ではサービス業である第三次産業が低い特徴があります。

中竜門地区の産業構造（平成27年）

	第一次産業	第二次産業	第三次産業	※林業
香束	4.5%	39.4%	56.1%	-
柳	14.2%	22.6%	63.2%	3.9%
三茶屋	9.6%	23.1%	67.3%	7.7%
小名	21.7%	43.5%	34.8%	17.4%
色生	5.3%	44.7%	50.0%	5.3%
中竜門地区	11.1%	29.9%	59.0%	4.8%

※平成27年国勢調査

中竜門地区の産業別就業者数（平成27年）

	総数	農業	林業	建設業	製造業	運輸・郵便	卸売・小売	金融・保険	不動産 物品賃貸
香束	66	3	-	8	18	2	3	-	4
柳	155	16	6	13	22	6	18	1	-
三茶屋	52	1	4	2	10	2	10	-	-
小名	23	1	4	6	4	1	2	-	-
色生	38	-	2	4	13	-	3	1	2
中竜門地区	334	21	16	33	67	11	36	2	6

	学術研究 専門技術 サービス	宿泊・飲食 サービス	生活関連 サービス 娯楽	教育 学習支援	医療福祉	複合 サービス	その他 サービス	公務	その他
香束	2	2	2	4	9	1	2	-	6
柳	4	3	3	9	25	7	11	4	7
三茶屋	1	1	1	1	6	2	9	2	-
小名	1	1	-	-	1	-	1	-	1
色生	-	2	1	-	4	1	3	1	1
中竜門地区	8	9	7	14	45	11	26	7	15

※平成27年国勢調査

2 中竜門地区の課題や問題点

中竜門自治協議会では、当該地区の問題点を以下のように設定しました。

- ・人口の減少及び少子高齢化
- ・一人暮らしの高齢者が多い
- ・交通や買い物が不便
- ・企業が育たず、雇用が少ない
- ・耕作放棄地が多い
- ・農業における鳥獣被害がある
- ・農林業が振るわない
- ・医療機関がない
- ・小名・殿川地区に水道設備がない
- ・空き家が多い

3 中竜門地区自治協議会について

(1) これまでの経緯

平成 29 年 1 月 14 日	中竜門鳥獣被害防止対策協議会設立
平成 29 年 3 月 3 日	中竜門防災福祉協議会設立
平成 31 年 2 月 16 日	中竜門地区自治協議会設立準備会議
平成 31 年 3 月 22 日	中竜門地区自治協議会 設立総会開催
	中竜門地区自治協議会 第 1 回定例総会開催



設立総会（会長挨拶）



設立総会（会場の様子）

「みんなで考え築くふるさと中竜門」

自治協だより

なかりゅう

広 報 第 7 号
 令和 3 年 8 月 1 日発行
 発 行 中竜門地区自治協議会
 事務局 柳沢重徳
 電 話 35-7552
 携 帯 080-8537-7412

ニンニクの収穫

6月5日（土）

昨年の秋に植え付けをしたニンニクの収穫をしました。
 今回も藤裏氏の指導の下、農林振興部会の役員を中心に、運営委員、各部会の副部長や有志の役員さんなど 22 名が参加してくれました。天候が心配でしたが、雨も上がり、無事に実施することが出来ました。



前日が高だったので引き抜くのが大変でした。



収穫後は葉と根をニンニク包丁で切りました。



葉の空き倉庫をお借りしてネットの上に並べて乾燥させました。

お花の力で地域を元気に!!



ニンニク収穫後のヒマワリの種まき



三茶屋休耕田でのヒマワリの種まき



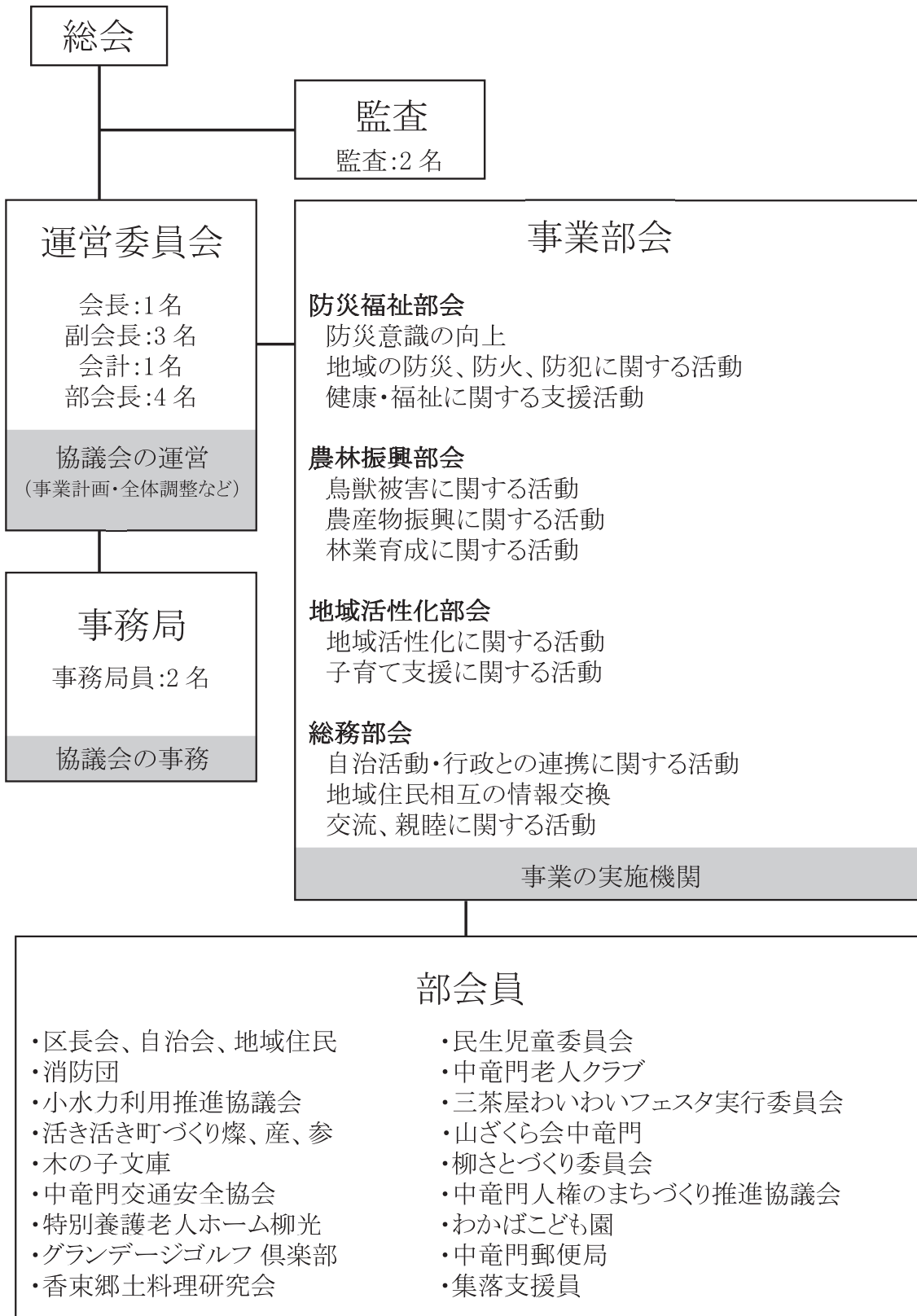
7月20日現在の三茶屋の休耕田のヒマワリ

収穫後の畑にヒマワリの種をまきました。この種は、サカタのタネの「希望のタネをまこう!」プロジェクトに応募して、いただいたものです。種まきの後鳥獣被害対策のためネットを張りましたが、前に荒らされてしまいました。後日、三茶屋生活改善センター横の休耕田に移植しました。三茶屋へ来られた時は、ぜひ、ご覧ください!

自治協だより「なかりゅう」

(2) 組織体制

・組織図



4 基本計画

(1) 計画の趣旨と全体の基本目標

中竜門地区は吉野町の東の玄関とも言われており、吉野見附三茶屋は大いに賑わっていた時期もありました。また、農業・林業が盛んで、住みやすい地域でしたが、現在は人口の減少や少子高齢化、交通の不便さや買い物する場所の少なさなどの問題があり、その解決は容易ではありません。しかし、この地域を、住みやすく、将来にわたって住み続けたい、そして、住み続けられるようにしていくため、地区民の総力を結集すれば、地域課題を乗り越え、賑わいを取り戻し、地域を再生することができると考えております。

そこで、ずっと住みたい、住み続けられる地域をめざして地域づくりスローガンを次のように掲げます。

みんなで考え 築くふるさと中竜門

また、住みやすさは住民同士の強いつながり、災害に強いまち、農業・林業などの地域産業の維持強化の3点の課題解決が必要であるとして次の活動方針を設定します。

●中竜門地区のまちづくりのキャッチフレーズ

- ・ずっと住みたい・住み続けられるまち
- ・地域の絆で安心と安全なまち
- ・豊かな自然を生業にできるまち

(2) 計画の期間

この計画は、令和4年度から令和8年度までの5年間の計画とします。また、新たな地域課題の発生や計画の進捗状況について、3年後の令和6年度に見直しを行います。また、地域や社会の状況に応じて、その都度見直しを行うことがあります。

(3) 個別の目標と基本計画

○防災福祉部会

<目標>

- ① 地域住民の防災意識を向上させる。
- ② 地域の防災・防火・防犯の力を向上させる。
- ③ 地域住民の健康増進を図る。

<計画>

- ① 年に1回、防災訓練を実施する。令和4年度は、消防団と共同で消火栓及び消火器の使い方の訓練、また、防災備蓄品の点検をする。

- ② (1) 令和6年度までに、災害用の発電機を各地区1台ずつ、計10台を備える。
現在は4地区に配布済み。
- (2) 令和4年度中に、令和2年度に各家庭に配付した救急医療情報キットに、連絡先の記入と冷蔵庫への保管が完了していることを確認する。
- (3) 令和4年度中に、令和3年度に各家庭に配布したチャレンジ絆防犯シートが、貼付されているかを確認する。
- ③ (1) 年に2回(11月、3月)グラウンドゴルフ大会を実施する。(地域活性化部会との共同)
- (2) 週に1回各自治会を巡回しながら、住民の健康維持に関わるワークショップ(令和4年度はケラケラ百歳体操)を実施する。



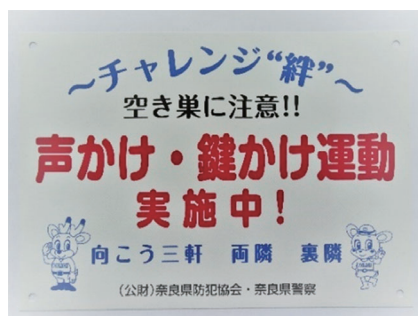
防災イベント



消火訓練



チャレンジ絆贈呈式



防犯シート

○農林振興部会

<目標>

- ① 鳥獣被害の対策をする。
- ② 農産物栽培を促進する。
- ③ 林業の維持・活性化を図る。

<計画>

- ① 令和6年度までに、鳥獣被害対策協議会と共同で、電気柵・防護ネット等を設置する。
- ② (1) 毎年、地域の特産品として、ニンニクを栽培し、黒ニンニクへの加工を行い、活き活き町づくり燦・産・参の来い買い市等で販売する。

- (2) 令和 8 年度までに、ニンニクの栽培・販路を拡充する具体的な方法や、広報活動を検討する。
- (3) 毎年、ニンニクの栽培に適した休耕田を調査・巡回する。
- ③ 育林事業の促進をする。
- ④ 年に 1 回①～③にかかわる対策を実施している先進地域の視察研修会を実施する。



ニンニクの植え付け



ニンニクの収穫



わかばこども園の園児と
ヒマワリの種まき



先進地視察（防護柵見学・丹波篠山市）

○地域活性化部会

<目標>

- ① 地域住民の交流を図る。

<計画>

- ① (1) 地域住民の交流のための祭りやイベントを実施する。グランドゴルフ大会（11月、3月）（防災福祉部会との共同）、イルミネーション（12月）等。
- (2) 各地区や個別の団体が開催しているイベントを支援し、地域の交流を促進する。



燦産参夏まつり（香東郷土料理研究会による小麦餅づくり）



柳国造神社の百灯祭



グラウンドゴルフ大会



吉野見附三茶屋のイルミネーション

○総務部会

<目標>

- ① 町との連携を促進する。
- ② 各部会との調整・研究開発。
- ③ 地域住民への広報活動を行う。
- ④ 第二次地区防災計画の策定を行う（防災福祉部会と連携）。

<計画>

- ① 年に3～6回実施する運営委員会に町職員を招き、町内外の情報収集を図る。
- ② 他のまちづくり協議会との話し合いの機会を作る。
- ③ 4ヶ月に1度自治だよりを発行する。
- ④ 令和6年度までに、第二次防災計画の策定を行う。そのため、令和4年度に第一次防災計画の振り返りを行い、令和5年度に第二次防災計画の議論を行う（防災福祉部会と連携）。



スローガン決定



啓発用のぼり旗作成

(4) 中竜門地区地域づくり計画

取組内容	計画の期間			活動の主体			備考
	短期 1年	中期 3年	長期 5年	各部会	行政と協働	個人やグループ	
消防訓練の実施			○	○			
防災用備品の購入		○		○			
緊急医療情報キットの記入確認	○			○			
チャレンジ絆防災シートの貼付確認	○			○			
グラウンドゴルフ大会の実施			○	○			
ケラケラ百歳体操の実施			○	○			
電気柵・防護ネットの配布		○		○			
ニンニクの栽培と黒ニンニクの加工販売			○	○			
ニンニク栽培の促進に関わる検討			○	○			
ニンニク栽培用の休耕田調査			○	○			
チェーンソーの体験指導			○	○			
地域住民の交流イベントの実施			○	○			
各地区や団体のイベントへの協力			○			○	
町との連携			○		○		
まちづくり協議会との情報共有			○		○		
自治だよりの発行			○	○			
先進地視察研修			○	○			
第二次地区防災計画の策定		○		○	○		

みんなで考え 築くふるさと中竜門

中竜門地区地域づくり計画書

令和4年6月発行

中竜門地区自治協議会

会 長 藤本 潔

運営委員 竹内 一・坂本 朱美・坂口 芳延

辻 秀昭・辻 良史・荒木 健治

総務部会 狩毛 昌捷・高樋 潔・木下 恵嗣

上谷 勝治・縄本 貴美男・笹部 夏穂

井上 敏・井上 正敏

協力：阪南大学 櫻井靖久ゼミ

印刷：松尾印刷株式会社